

第96回

メーカー・金融機関関連会社社員のための

銀行業務研修・基礎コース

銀行業務の基本を学び、金融機関に信頼される社員を養成します

本コースでは、金融機関を担当するシステム開発者や営業担当者が、銀行業務の基礎用語や実務知識を身に付けることで、金融機関から信頼される担当者になることを目標とします。

業務が多様化し、経営環境が大きく変化する銀行業務を俯瞰し、銀行システムを網羅的かつ体系的に学習します。

人材不足が顕在化する銀行では、IT部門の弱体化が叫ばれています。その中で金融機関はベンダーに何を求めているのでしょうか。メガバンクOBで、実際にシステム開発を担当した講師が銀行業務システムについて、現状の課題や解決の方向性を具体的に解説・提言します。

これまでの参加者の声より

- ・講師の実体験を交えた説明があり、イメージしやすかった。
- ・実際にシステムを開発した話や開発にあたっての裏話を聞くことが出来て良かった。
- ・銀行出身である講師の話はベンダーからの視点ではないため、参考になった。
- ・銀行のIT投資動向やシステム構成を把握することが出来た。
- ・システム概念図とそれに関する解説は勉強になった。
- ・具体的なシステムの開発事例が参考になった。
- ・金融機関のシステム部門が脆弱化している事情が分かった。
- ・勤務する会社ではこのような研修がないため、大変良い機会だった。

開催日：2018年2月6日（火）・7日（水） 2日間

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：

（敬称略）

CMC 特別専任講師

モリヤ・オペレーションズ・プランニング合資会社 代表社員
守屋 勉

主催：CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

* 上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

研修の対象

- ・金融機関を対象とする企業の新入社員や新たに金融機関を担当する社員、銀行業務をもう一度学習したい営業担当者や企画担当、システム開発担当の方々。
- ・金融機関関連会社の若手社員の方々。
- ・金融機関のシステム部門の担当者の参加も歓迎します。

研修のねらい

- ・銀行システムを開発していくうえで、銀行業務の知識は必須です。金融機関を担当するために必要となる基礎用語・実務知識を身につけ、信頼される担当者になることを狙いとします。

研修のテーマ

- ・金融機関の業務や役割を学んだうえで、銀行システムの構成と機能、業務システムの開発事例を学びます。
- ・市販の本や教科書では知ることが出来ないエピソードや裏話を交えながら金融機関の実務担当者と接していくうえで必要な知識を学びます。

開催要綱

開催日：2018年2月6日（火）・7日（水） 2日間

時 間：1日目 10:00～17:00（9:30受付開始）

2日目 9:30～16:30（9:00受付開始）

講 師：CMC 特別専任講師

モリヤ・オペレーションズ・プランニング合資会社 代表社員

守屋 勉 氏

1972年三和銀行（現 三菱東京UFJ銀行）入行、第2次オンラインで預金業務開発を経験、第3次オンラインでは融資事務を再構築。その後、契約書集中システム、テレビ窓口システム等を銀行業界で初めて開発。2002年エム・ユー・フロンティア債権回収株式会社に転籍、同社の事務・システム体制を整備すると共にISMS等情報管理システムを構築。07年独立。現在、金融機関等の業務合理化・事務構築を支援中。金融機関ビジネスモデル特許権取得3件

会 場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷） お申込み後、案内地図をお送りいたします。

受講料：CMC会員価格 62,640円（本体価格58,000円、消費税4,640円）

（金融機関機械化研究会および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会の会員機関）

一 般 価 格 71,280円（本体価格66,000円、消費税5,280円）

（2日とも昼食はこちらで用意いたします）

定 員： 40人

参考文献：「金融時事用語集」（2017年版） 1,500円＋消費税（送料実費）

この本は、最近のキーワードとなる金融時事用語約200項目を厳選し、金融・証券・保険各界のエキスパートが時事的な観点から、用語の背景から直近のデータを使って平易・簡潔・具体的をモットーに解説したものです。

発行元 金融ジャーナル社 電話 03-3261-8826

FAX 03-3261-8839

<http://www.nikken.co.jp/journal> から購入できます。

銀行業務研修・基礎コース

スケジュール

第1日目 2月6日(火)

10:00~17:00(9:30受付開始)

第2日目 2月7日(水)

9:30~16:30(9:00受付開始)

<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none">1. 銀行担当SE/営業に求められるもの<ol style="list-style-type: none">(1) 銀行は大きく変化してきている(2) 銀行がベンダーに望むこと(3) 銀行担当SE/営業に求められるもの2. 銀行とは<ol style="list-style-type: none">(1) 銀行の役割とその機能(2) 銀行(金融機関)の種類(3) 銀行業務と法律(4) 銀行業務の基礎3. 銀行の取扱業務<ol style="list-style-type: none">(1) 基本業務<ol style="list-style-type: none">a 預金業務b 為替業務c 融資業務d 担保e 外国為替業務f その他の業務(2) 新しい銀行業務<ol style="list-style-type: none">a 銀行の証券業務b 投資銀行業務c プライベートバンキングd ダイレクトバンキング4. 銀行の組織とその役割<ol style="list-style-type: none">(1) 銀行の全体組織(2) 営業店<ol style="list-style-type: none">a 営業店の役割b 営業店の組織c 営業店の形態・課題(3) 集中センター<ol style="list-style-type: none">a 事務センターb 地区センターc コンピューターセンター	<ol style="list-style-type: none">5. 銀行経営とシステムの位置づけ<ol style="list-style-type: none">(1) システム優先度変化(2) 競争激化時代の到来(3) 銀行にとってシステムとは何か(4) 銀行システムは諸刃の剣(5) システム障害の原因と背景(6) システム部門の役割6. 銀行システムの基礎<ol style="list-style-type: none">(1) 銀行システムのあらまし(2) 銀行システム発展の歴史(3) 銀行システムの基本構成<ol style="list-style-type: none">a 業務系システムb 情報系システムc デリバリーチャンネル系システムd 事務系システム(4) インターバンク決済システム(5) 電子決済の進展7. 銀行のIT投資動向8. 業務システム開発事例<ol style="list-style-type: none">(1) 店頭体制の改革(2) 事務ナビシステムの開発(3) 文書管理システムの開発 <p>おわりに~質疑応答</p> <p>(2日間とも昼食はこちらで用意いたします)</p>
--	---

79

メーカー・金融機関関連会社社員のための
第96回 銀行業務研修・基礎コース

ホームページ用受講申込書
 2018年2月6日(火)～7日(水) 開催

貴社名

所在地 (〒 -)

連絡責任者

TEL

部署・役職

FAX

	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

※お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送します。

※一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料

■CMC会員価格 62,640円 (本体価格58,000円、消費税4,640円)
 (金融機関機械化研究会および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会の会員機関)

■一般価格 71,280円 (本体価格66,000円、消費税5,280円)

(2日間とも昼食はこちらで用意いたします)

お申し込み・お問い合わせは

CMC TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：(振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

(名義) 株式会社 CMC 振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。
振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日前、一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演中は、録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
- ⑦ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。